

年月日

22

03 04

ページ

19

N.O.

科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

(138)

加齢性疾患

世界で高齢化が急速に進行している。日本は、65歳以上の人口は29・1%（2021年）から37・7%（50年）になるとの政府推計がある。平均寿命の延伸とともに、健康上の制限なく日常生活が可能な健康寿命も延伸したが、その差である約10年間の不健康期間が問題だ。健康寿命の延伸を阻害する主な要因が、循環器疾患などの加齢性疾患である。人々が健康に長生きをするため、対策が必要だ。加齢性疾患対策では、老化と加齢性疾患のメカニズムの理解、

の65歳以上の人口は29・1%（2021年）から37・7%（50年）になるとの政府推計がある。平均寿命の延伸とともに、健康上の制限なく日常生活が可能な健康寿命も延伸したが、その差である約10年間の不健康期間が問題だ。健康寿命の延伸を阻害する主な要因が、循環器疾患などの加齢性疾患である。人々が健康に長生きをするため、対策が必要だ。加齢性疾患対策では、老化と加齢性疾患のメカニズムの理解、



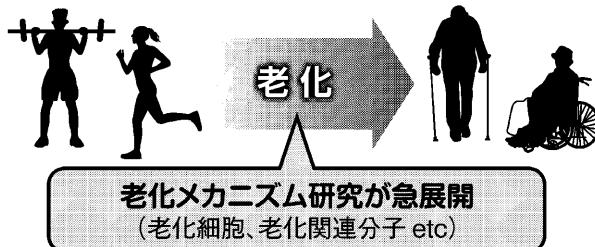
科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター
フェロー（ライフサイエンス・臨床医学ユニット）
辻 真博

基礎研究（生命科学、生命工学、疾患科学）、医療技術開発（医薬品、再生医療・細胞医療・遺伝子治療、モダリティ一般）、医療デバイス、研究環境整備などさまざまなテーマを対象に調査・提言を実施。

老化制御で健康長寿社会実現

分野融合研究

老化制御、治療に関わる研究開発の現状



- 老化制御モダリティ（医薬品 etc）の臨床試験が複数進行中
- 海外でスタートアップが次々と設立、総額 60 億ドル以上の資金調達

参考：JST 研究開発戦略センター「加齢に伴う生体レジリエンスの変容・破綻機構—老化制御モダリティのシーズ創出へー」2022年2月
<https://www.jst.go.jp/crds/report/CRDS-FY2021-SP-06.html>